

令和 2 年度

事業計画書および収支予算書

公益財団法人 河北文化事業団

事業計画書

1. 河北文化賞の贈呈

本団は河北新報社および東北放送、東北放送文化事業団との共催により、東北地方の学術・文化の向上、産業の興隆および社会活動などについて功績顕著な個人、団体に対し、第70回（令和2年度）河北文化賞を贈呈する。

- (1) 選考年度は令和元年11月3日から令和2年11月2日までとする。
- (2) 審査により数件の授賞者を決定し、令和3年1月1日付河北新報紙上で発表する。
- (3) 贈呈式は令和3年1月17日に行い、本賞を賞牌とし、副賞として別途定める賞金を添えて贈呈する。
- (4) 第70回限定で、東京五輪・パラリンピックの東北関係メダリストを顕彰する「河北文化賞 東京五輪・パラリンピック特別賞（仮称）」を設ける。

予 算 1440万円（河北文化賞事業費840万円、特別賞600万円）

※河北文化賞贈呈式に当たり、河北文化賞の意義や目的を広報するため、これまでの受賞者を紹介した冊子を刊行する。

2. 河北美術展の開催

本団は東北美術界の興隆を図るため、河北新報社と共催で第83回河北美術展を、令和2年4月23日から5月5日まで仙台市の藤崎とTFUギャラリーミニモリで開催する。

予 算 10万円（主催共催費）。残りの経費は河北新報社で計上負担する。

3. 河北書道展の開催

本団は東北書道界の向上、発展に寄与するため、河北新報社と共催で第67回河北書道展を令和2年9月上旬に仙台市のTFUギャラリーミニモリで開催する。経費は河北新報社で計上負担する。

4. 連携工芸展の開催

本団は東北地方の工芸界の振興、発展に寄与するため、河北新報社、公益社団法人宮城県芸術協会と共催で河北工芸展を引き継ぐ連携工芸展（仮称・杜の都工芸展）を令和2年11月に仙台市のTFUギャラリーミニモリで開催する。一部経費を河北新報社で計上負担する。

5. 東北中学校野球大会の開催

東北6県の学校と社会が一体となって、最も成長期にある中学球児に夢と希望を与え、人間形成の基礎を培うと共に、体位の向上と健全なスポーツの体得に寄与するため、本団は東北中学校体育連盟、東北野球連盟、青森県教育委員会、青森市教育委員会と共催で、第49回若鷺旗争奪東北中学校野球大会兼第42回全国中学校軟式野球大会東北予選会を令和2年8月8日から10日までの3日間、青森市営球場、青森県営球場で開催する。経費は河北新報社で計上負担する。

6. 芸術活動および文化施設への協力

第57回宮城県芸術祭の奨励および東北における文化施設の充実を図るため、本団は関係諸団体と諮り、これに協力する。

予 算 8万円（協力費）

7. 全東北ピアノコンクールの開催

本団は東北の音楽文化の向上を図るため、河北新報社、東北放送、東北放送文化事業団その他関係諸団体と協力して、第64回全東北ピアノコンクールを開催する。予選を令和2年4月12日に、本選を6月14日に、いずれも仙台市の宮城野区文化センターパトナホールで実施する。

予 算 120万円（主催共催費）

8. その他

本団は東北の芸術、文化の向上、振興を目指し、関係諸団体と協力して講演会、音楽会、展覧会などを随時共催、後援し、必要に応じ賞品を贈る。

予 算 20万円（主催共催費）

令和2年度予算書（正味財産増減計算ベース）

令和2年1月1日から令和2年12月31日まで

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用益	718,000	1,284,000	△ 566,000
基本財産受取利息	154,000	720,000	△ 566,000
基本財産受取配当金	564,000	564,000	0
②特定資産運用益	1,000	3,000	△ 2,000
運用財産受取利息	1,000	3,000	△ 2,000
③受取負担金	6,700,000	6,700,000	0
④受取寄付金	0	0	0
⑤雑収益	135,000	135,000	0
経 常 収 益 計	7,554,000	8,122,000	△ 568,000
(2) 経常費用			
事業費	10,360,000	10,860,000	△ 500,000
河北文化賞費	5,450,000	5,450,000	0
河北文化賞会場費	2,000,000	2,500,000	△ 500,000
河北文化賞旅費交通費	300,000	300,000	0
河北文化賞印刷費	400,000	400,000	0
河北文化賞諸経費	600,000	600,000	0
臨時雇用手当	30,000	30,000	0
主催共催費	1,500,000	1,500,000	0
協力費	80,000	80,000	0
管理費	1,234,000	1,180,000	54,000
給与手当	300,000	300,000	0
会議費	150,000	150,000	0
旅費交通費	150,000	150,000	0
通信運搬費	50,000	50,000	0
消耗什器備品費	10,000	10,000	0
消耗品費	10,000	10,000	0
印刷製本費	100,000	100,000	0
資料費	10,000	10,000	0
減価償却費	54,000	0	54,000
雑費	400,000	400,000	0
経 常 費 用 計	11,594,000	12,040,000	△ 446,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 4,040,000	△ 3,918,000	△ 122,000
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 4,040,000	△ 3,918,000	△ 122,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
3. 投資活動の部			
(1) 投資活動収入			
河北文化賞基金取崩収入	0	6,000,000	△ 6,000,000
投資活動収入計	0	6,000,000	△ 6,000,000
(2) 投資活動支出			
河北文化賞基金取崩支出	0	6,000,000	△ 6,000,000
投資活動支出計	0	6,000,000	△ 6,000,000
投資活動収支差額	0	0	0
4. 予備費支出	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 4,040,000	△ 3,918,000	△ 122,000
一般正味財産期首残高	14,016,226	17,934,226	△ 3,918,000
一般正味財産期末残高	9,976,226	14,016,226	△ 4,040,000
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	△ 55,541	55,541
指定正味財産期首残高	70,400,000	70,455,541	△ 55,541
指定正味財産期末残高	70,400,000	70,400,000	0
III 正味財産期末残高	80,376,226	84,416,226	△ 4,040,000

※平成31年度予算の作成時点(平成30年12月)では、30年度の期末残高が確定していなかったため、一般正味財産期首残高を15,240,391円としていましたが、30年度決算の一般正味財産期末残高が17,934,226円となり2,693,835円の開差が生じました。したがって、31年度予算の一般正味財産期首残高を決算額に修正して作成しました。

正味財産増減計算書内訳表(予算)

令和2年1月1日から令和2年12月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計				法人会計	合 計
	河北文化賞事業	主催共催協力事業	共 通	小 計		
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
①基本財産運用益	0	0	718,000	718,000	0	718,000
基本財産受取利息	0	0	154,000	154,000	0	154,000
基本財産受取配当金	0	0	564,000	564,000	0	564,000
②特定資産運用益	1,000	0	0	1,000	0	1,000
運用財産受取利息	1,000	0	0	1,000	0	1,000
③受取負担金	5,000,000	0	0	5,000,000	1,700,000	6,700,000
④受取寄付金	0	0	0	0	0	0
⑤雑収益	0	0	0	0	135,000	135,000
経 常 収 益 計	5,001,000	0	718,000	5,719,000	1,835,000	7,554,000
(2) 経常費用						
事業費	8,780,000	1,580,000	0	10,360,000	0	10,360,000
河北文化賞費	5,450,000	0	0	5,450,000	0	5,450,000
河北文化賞会場費	2,000,000	0	0	2,000,000	0	2,000,000
河北文化賞旅費交通費	300,000	0	0	300,000	0	300,000
河北文化賞印刷費	400,000	0	0	400,000	0	400,000
河北文化賞諸経費	600,000	0	0	600,000	0	600,000
臨時雇用手当	30,000	0	0	30,000	0	30,000
主催共催費	0	1,500,000	0	1,500,000	0	1,500,000
協力費	0	80,000	0	80,000	0	80,000
管理費	0	0	0	0	1,234,000	1,234,000
給与手当	0	0	0	0	300,000	300,000
会議費	0	0	0	0	150,000	150,000
旅費交通費	0	0	0	0	150,000	150,000
通信運搬費	0	0	0	0	50,000	50,000
消耗什器備品費	0	0	0	0	10,000	10,000
消耗品費	0	0	0	0	10,000	10,000
印刷製本費	0	0	0	0	100,000	100,000
資料費	0	0	0	0	10,000	10,000
減価償却費	0	0	0	0	54,000	54,000
雑費	0	0	0	0	400,000	400,000
経 常 費 用 計	8,780,000	1,580,000	0	10,360,000	1,234,000	11,594,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 3,779,000	△ 1,580,000	718,000	△ 4,641,000	601,000	△ 4,040,000
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 3,779,000	△ 1,580,000	718,000	△ 4,641,000	601,000	△ 4,040,000
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用						
経常外費用計	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	3,779,000	1,580,000	△ 5,359,000	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	△ 4,641,000	△ 4,641,000	601,000	△ 4,040,000
3. 投資活動の部						
(1) 投資活動収入						
河北文化賞基金取崩収入	0	0	0	0	0	0
投資活動収入計	0	0	0	0	0	0
(2) 投資活動支出						
河北文化賞基金取崩支出	0	0	0	0	0	0
投資活動支出計	0	0	0	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0	0	0	0
一般正味財産期首残高	0	150,000	13,210,226	13,360,226	656,000	14,016,226
一般正味財産期末残高	0	150,000	8,569,226	8,719,226	1,257,000	9,976,226
II 指定正味財産増減の部						
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	70,400,000	70,400,000	0	70,400,000
指定正味財産期末残高	0	0	70,400,000	70,400,000	0	70,400,000
III 正味財産期末残高	0	0	78,969,226	79,119,226	1,257,000	80,376,226

資金調達及び設備投資の見込みについて

(令和2年1月1日から令和2年12月31日まで)

(1) 資金調達の見込みについて

当期中における借入の予定はありません。

(2) 設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資（除却又は売却を含む）の予定はありません。

以上

第69回（令和元年度） 河北文化賞贈呈式要領

日 時 令和2年1月17日(金) 午後1時

会 場 仙台国際ホテル2階「平成の間」

▽ 開 会

あ い さ つ 河北文化事業団 理 事 長 一 力 雅 彦

審 査 経 過 報 告 河北文化事業団 常務理事 鈴 木 紳 一

賞 贈 呈 河北文化事業団 理 事 長 一 力 雅 彦

受賞者あいさつ 各 受 賞 者

記 念 講 演 「研究は人と人と人と人」

山形大学大学院 有機材料システム研究科教授 城 戸 淳 二 氏

▽ 記念茶話会

ス ピ ー チ 推挙者から各受賞者の功績を紹介

▽ 閉 会

終了予定 午後3時30分

以 上

第69回（令和元年度）
河北文化賞授賞件名及び受賞者

「東北への次世代放射光施設設置の実現および物質・材料の新しい評価法開発」

東北大学名誉教授 早稲田 嘉夫（個人）

○推挙者：東北大学総長 大野 英男

「PET（ペット）によるがん診療法の開発と実用化およびヒト脳加齢の画像研究など
脳科学の発展に対する貢献」

東北医科薬科大学医学部長（放射線医学教室教授）、東北大学名誉教授

福田 寛（個人）

○推挙者：東北大学名誉教授 石田 清仁

「ブラックホールの輪郭撮影に初めて成功した国際チームに参加し、重要な役割を果たした業績」

国立天文台水沢VLBI観測所（団体）

○推挙者：奥州市長 小沢 昌記

「彫刻芸術分野における世界的業績および宮城県への貢献」

彫刻家・画家 武藤 順九（個人）

○推挙者：宮城県知事 村井 嘉浩

昭和の森芸術文化振興協会会長 福持 克之助ほか

「長年にわたる会津地域、福島県、東北の産業振興への貢献」

会津大学産学イノベーションセンター（団体）

○推挙者：会津大学理事長 岡 隆一

※敬称略・順不同